



令和7年度 荒尾市立荒尾第三中学校 教育目標

自立型人間の育成

～仲間とつながる、地域とつながる、未来とつながる～

協創自 校
力造主 訓

<めざす生徒像>

- 周りとのつながりを大切にする生徒
- 三中和荒尾市に誇りを持つ生徒
- 自他の幸せを追求し続ける生徒

<新学習指導要領改訂の方向性>

何ができるようになるか

学びに向かう力・人間性等の涵養
生きて働く知識・技能の習得
思考力・判断力・表現力の育成

カリキュラム・マネジメントの実現

何を学ぶか

育む資質・能力の明確化

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び

生きる力

「熊本の学び」の推進

- 「進化型あらおベーシック」を基盤にした三中授業スタイルの確実な授業実践
- 実態に応じたきめ細かな個別指導の工夫と実践
- 学習規律の徹底（挨拶、返事、授業前着席、聴く姿勢）
- タブレット等、ICT機器の効果的な活用
- 学力向上関係事業の積極的な活用
- 家庭と連携し、授業と繋がる家庭学習の工夫と習慣化
- 日本語・英語教育の充実（言語活動、読書活動、国際交流）

<めざす学校像>

- 一人一人に心の居場所のある学校
- 活気と勢いのある学校
- 温かみと潤いのある学校
- 信頼される学校

<めざす教職員像>

- 情熱と愛情をもち、様々な仕掛けを行い、最後までやりきらせる指導を実践する教職員
- 豊かな人権感覚をもち、温かく公平に接する教職員
- 生徒の姿で教育を語る教職員
- 三中に集うすべての人の幸せを追求する教職員
- 職員十訓を実践する教職員

心の居場所づくりの推進

個に応じた指導の積極的推進

～一人にこだわってチームで対応～

- 小岱教室・ハートフルルーム・学習ルーム・保健室・相談室等、教職員同士及び家庭と連携した「心の居場所」づくりの推進
- 拡大不登校対策委員会の実施（関係機関との連携）
- 校内支援委員会の充実

重点的に育成を目指す資質・能力

自ら心を開き行動する力

自らの存在を肯定する力

自ら学び続ける力

キャリア教育の推進

- 基礎的・汎用的能力（4つの資質・能力）の視点で身につけさせたい力を意識した取組の推進
- キャリアパスポートの活用の充実
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による地域人材の活用
- 生徒会を中心とした地域貢献活動の推進
- 「三中タイム」による生徒主体の活動実践

人権教育の充実

～すべての教育活動を通じて、人権意識を高め、部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さず行動する生徒の育成～